

委員会のうごき

総務常任委員会

委員長 竹内 典子

当委員会では、議案11件を審査。主な質疑の内容は次のとおりです。

◎26年度一般会計予算

Q 市の広報紙は新聞折り込みで配布されている。市内全域自治会配布が望ましいと思うが、自治会配布のできる地域だけでもできないか。

A 広報紙は一人でも多くの方に見ていただくことが最も大切ですので、現時点では、新聞折り込みが最善と考えていますが、自治会配布も引き続き検討していきます。

◎名誉市民条例の制定

Q 名誉市民の選定基準は。

A 選定基準はありません。条例の目的にふさわしい候補者を選択し、名誉市民審査委員会にて検討させていただきます。

最終、議会の同意を得て選定する予定です。

◎協働のまちづくり条例の制定

Q まち協に対する行政の支援・指導體制は。

A まち協の運営やコミセン指定管理の業務指導については、直接市の職員が指導しています。

さらに、労務管理や経理の部分については、税理士や社会保険労務士による専門的な技術指導をさせていただきます。

福祉教育子ども常任委員会

委員長 市木 徹

当委員会では、議案23件を審査。主な質疑の内容は次のとおりです。

◎26年度一般会計予算

Q 学力向上の学習番組を製作されるが、ケーブルテレビでの放送時期はいつ頃か。

A 現時点で、夏休み期間中と、年度末になる春休みの2回放送予定です。これ以外に、再放送やDVDを活用した学校での放送を計画しています。

◎授業が成り立たないクラスがあると聞か

Q 加配の支援員の充実は。

A 緊急雇用対策が終了したことから、市単独で支援員の配置を行います。が、昨年よりも減員となっています。今後の人員確保については、更に努力していきます。

◎26年度国民健康保険(事業勘定)特別会計予算

Q 国民健康保険の保健事業で、先進的に取り組んでいる事業はあるのか。

A 龍谷大学との連携事業で、うつ病と糖尿病の因果関係を調査しています。

うつ傾向があると思われる方に対して、運動のきっかけづくりと栄養の分析を行うことで、医療費の適正化につなげていきます。

◎子ども医療費助成条例一部改正

Q 対象者を15歳あるいは18歳までとしている市町もあるが、更に拡充する検討は。

A 財政状況を見ながら、今後、進めていきたいと思っておりますが、現状では小学6年生までと考えています。

産業建設常任委員会

委員長 横山 榮吉

当委員会では、議案14件を審査。主な質疑の内容は次のとおりです。

◎25年度一般会計補正予算(第9号)

Q 米政策支援推進事業について、法人化に向けた取り組みへの支援は。

A 集落営農の法人化を進めるため、各地域の会合などで説明を行うとともに、法人化を希望される地域については、直接伺い説明を行うことで事業推進に努めています。

現在、市内54地区で集落営農法人が結成されました。

定中です。

今回の点検は10mから15mまでの橋梁を実施するもので、同様に修繕計画を策定し、順次、改修あるいは修繕を行う予定です。

また、道路ストック総点検は、国へ路面性状やトンネル、道路法面等の状況を報告することにより、国の補助事業の対象とするものです。

◎26年度簡易水道事業特別会計予算

Q 今後、簡易水道と上水道が統合されることが予定されているが、簡易水道の料金体系は。

A 28年度に簡易水道と上水道の統合が決定しています。しかし、料金については差が大きいことから、段階的な料金改定を考慮しています。



切磋琢磨でより良いまちづくり